

留萌 ゆめみらい 物語

#1 野原 守さん



NPO法人
るもい農業応援隊
理事長

のほら まもる
野原 守さん



▲野菜栽培実験ハウスで行われている水耕栽培

留萌農業の活性化へ 行政と農家のパイプ役担う

NPO法人るもい農業応援隊は、留萌農業の活性化などを目的に発足し、昨年12月にNPO法人として設立しました。市が旧幌糠小・中学校で実施している6次産業化事業や就農支援事業に協力するなど、行政と農家のパイプ役を担っています。

理事長の野原守さんは「市内の農家は高齢化が進み、後継者問題などで廃業する農家も少なくありません。農業を取り巻く環境についても、いっどうなるか分からないのが現状です。だからこそ、『今できることを今始めることが大切』だと考えています」と語ってくれました。

主な活動としては、「るもい

農業『人』と『食』の交流推進協議会」が旧幌糠小・中学校の校舎内で取り組んできた農作物の乾燥加工品製造事業を引継ぎ、乾燥野菜の加工製造と市内スーパーなどへの出荷を行っています。また、市が旧幌糠小・中学校のグラウンドに設置した2棟の野菜栽培実験ハウスで新技術を活用しながら、ミニチンゲンサイやベビリーフなどの水耕栽培を行っています。

「将来的には、乾燥野菜の加工製造や実験ハウスの水耕栽培が、冬期間の雇用創出や新規就農につながることを目指してい

ます。今後は、市と協議しながら、農業機械を操作するオペレーターを育成する事業にも取り組みたいと考えています」と笑顔を見せてくれました。

「るもい農業応援隊としての活動は始まったばかりです。活動を通じ、多くの方の協力を得ながら、留萌農業が抱えている課題の解決策を模索していきたいと考えています。一人でも多くの方に農業への関心を高めてもらい、新規就農につないでいきたいですね」と話してくれました。

◇ NPO法人るもい農業応援隊の活動などについては、左記へお問い合わせください。

問 NPO法人るもい農業応援隊

(幌糠農業・農村支援センター内)

☎ 46-11156